

平成 24 年(2012) 6 月 27 日 (水)

NPO 法人エコネット近畿

第 8 回 近畿の環境団体情報交流会 速報

【開催概要】

日 時：平成 24 年(2012) 6 月 23 日 (土) 13:00～17:30

会 場：大阪市立総合生涯学習センター (大阪市北区梅田 1-2-2-500)

目標数：80 名

実績数：40 名

プログラム：

時間	内容	講師・発表者等
12:30～	受付開始	
13:00～	開会、主催者あいさつ	エコネット近畿 山本理事長
13:05～ 14:05	基調講演 「東日本大震災を経験して、これからの持続可能な社会をどうつくるか」	太陽光発電技術研究組合 桑野幸徳氏
14:05～	休憩・会場移動	
14:10～ 15:30	パネルディスカッション 「東日本大震災を経験して、これからの持続可能な社会をどうつくるか」	基調講演ならびに分科会講師
15:30～	休憩・会場移動	
15:45～ 17:00	分科会 ① 食と安全 ② エネルギーの確保 ③ 里山の生態系	①NPO 法人使い捨てを考える会 榎田劭氏 ②NPO 法人気候ネットワーク 田浦健朗氏 ③名古屋大学大学院 夏原由博氏
17:00～ 17:25	全体まとめ	① エコネット近畿 大林輝理事 ② エコネット近畿 吉田浩巳常任理事 ③ エコネット近畿 米道綱夫常任理事
17:25～	開会、主催者あいさつ	エコネット近畿 西田常任理事
17:30	終了	

本年の情報交流会は「東日本大震災を経験して、これからの持続可能な社会をどうつくるか」をテーマに、持続可能な社会の構築を目的として開催しました。近畿各所より様々な分野の環境NPO等で活躍される40名の参加があり、目標数の80名には及びませんでした。それぞれの地域での環境活動の指針となる情報の収集と各NPO団体の交流の両側面に対して意識の高い方々にご参加いただくことができました。

桑野幸徳氏の基調講演では、東日本大震災を機に大きく社会が変革を求められている今、エネルギー革新の旗手として自然エネルギー、とりわけ太陽光発電への期待、現状、将来の展望を具体的数値と共に示しお話いただきました。専門的に偏りがちなエネルギー問題をわかりやすく、熱く夢抱くようなお話しぶりに、多くの聴衆がひきこまれあっという間の1時間でした。

引き続いてのパネルディスカッションでは、基調講演と分科会の講師により、同じテーマでの発表と、講師同士の質問がなされ、さらに広い視野で持続可能な社会の実現について議論されました。

その後、「食」「エネルギー」「里山の資源利用」を考える各分科会にわかれ、活発に意見がかわされました。

全体を通じて NPO 活動の内容を深める講演や情報提供、課題の提示を参加者に対して行うことができ、また情報交流の場を作ることができ、有意義な情報交流会になりました。

【実施風景】



開会のあいさつ



基調講演



基調講演



パネルディスカッション



パネルディスカッション



パネルディスカッション



第1分科会



第2分科会



第3分科会



全体まとめ



全体まとめ



閉会挨拶

以上